

=====

◇植物ストレス科学研究ネットワークメールマガジン vol.171◇

2024 年 10 月 11 日号(第 171 号)

=====

————◇◆ INDEX ◆◇————

1. 気になった科学分野の本の紹介
2. 令和 7 年度アライアンス・プラチナ枠による共同研究課題募集のお知らせ
3. 大学院進学説明会のお知らせ
4. 最近の研究成果について
5. 投稿のお願い
6. 編集後記

————◆◇◆◇————

1. 気になった科学分野の本の紹介 (第 10 回)

今回は「植物栄養学 第 3 版」馬建鋒/信濃卓郎/高野順平 編 文永堂出版 (2024 年 7 月発行) をご紹介したいと思います.

これまでに、2001 年に第 1 版が、2010 年に第 2 版の「植物栄養学」が出版されてきました. 本書は 14 年ぶりに全面改定がおこなわれた最新版となっています. 内容として、第 1 章の「植物栄養学の歴史」で、植物栄養学とはどのような学問なのか、軽妙な筆致で始まります. そして「光合成と呼吸」、次に「水や必須栄養元素 (多量, 微量)」, それ以外の「有用元素」「有害元素」の各章で、植物におけるミネラルの動態についてと土壌性質との関係が解説されています. そして「植物のミネラルとヒトの健康」、最後に「肥料と環境」という構成となっています. また各章の所々に、興味深い内容のコラムも含まれます.

本書冒頭の「はじめに」に、「植物栄養学は作物の生産性だけではなく、環境や人の健康にも密接な関係のある学問である」との記載にもあるように、植物だけではなく、農業や環境問題も視野に入れた内容になっています. 植物栄養学 (に関係する講義) を受講している学生さんにはお勧めの一冊です.

見た目で第 2 版と変わったところとして、巻頭のカラー以外、本文中の図や写真がモノクロ印刷になり、またハードカバーからソフトカバーになっています. 価格を抑えるためにこの仕様になったそうなのですが、出版社の諸々の事情によるためか、結果的に第 2 版よりも定価が高くなってしまったようです (税込価格 6,050 円です). しかし内容に関しては、はるかにアップデートされているため、読む価値はあると思います. 図書館などで見かけたら、まずは是非ご一読ください.

2. 令和7年度アライアンス・プラチナ枠による共同研究課題募集のお知らせ

先月号でもお知らせしました、植物研究拠点アライアンス (Plant Science Core Alliance: PSCA) の「アライアンス・プラチナ枠」による共同研究課題の募集が行われています。筑波大学、大阪公立大学、鳥取大学、岡山大学、琉球大学の関連5拠点が参画しており、申請者が2拠点以上の受入教員とチームを組み、それぞれの拠点の特色を横断的に利用して行うことができる共同研究となっております。

(通常の岡山大学資源植物科学研究所拠点共同研究とは別枠での募集となります。)

応募の締め切りは令和6年10月18日(金)(必着)です。

詳細については下記 URL でご確認ください。

<https://psca-jurc.com/news/news-detail.php?id=45>

3. 大学院進学説明会(オンライン開催)のお知らせ

先月号でもすでにお知らせしていますが、岡山大学資源植物科学研究所では大学院進学を検討されている方を対象にしたオンライン大学院説明会を開催します。

参加を希望される方は事前申し込みをお願いしています。

申し込み締め切りは10月18日(金)で、開催日は以下の日程です。

2024年10月25日(金) 13:00-17:00頃

2024年10月28日(月) 13:00-17:00頃

詳細については下記 URL でご確認ください。

https://www.rib.okayama-u.ac.jp/grdsh/Daigakuin_J/setsumeikai.html

4. 最近の研究成果について

Matsushima, R., Hisano, H., Kim, J., McNelly, R., Oitome, N.F., Seung, D., Fujita, N., Sato, K.

Mutations in starch BRANCHING ENZYME 2a suppress the traits caused by the loss of ISOAMYLASE1 in barley. Theoretical and Applied Genetics. 137:212 (2024)
Doi.org/10.1007/s00122-024-04725-7

Hsiang, T., Chen, Y., Nakano, R., Oikawa, A., Matsuura, T., Ikeda, Y., Yamane, H.

Dormancy regulator Prunus mume DAM6 promotes ethylene-mediated leaf senescence and abscission. Plant Molecular Biology, 114:99 (2024)
Doi.org/10.1007/s11103-024-01497-y

Grossi, C.E.M., Tani, A., Mori, I.C., Matsuura, T., Ulloa, R.M.

Plant growth-promoting abilities of Methylobacterium sp. 2A involve auxin-mediated regulation of the root

architecture.

Plant, Cell & Environment, 10.1111/pce.15116 (2024)
Doi.org/10.1111/pce.15116

Huang, H., Yamaji, N., Huang, S., Ma, J.F.

Uptake and Accumulation of Cobalt Is Mediated by OsNramp5 in Rice.

Plant, Cell & Environment, 10.1111/pce.15130 (2024)
Doi.org/10.1111/pce.15130

Toriyama, K., Iwai, Y., Takeda, S., Takatsuka, A.,
Igarashi, K., Furuta, T., Chen, S., Kanaoka, Y., Kishima,
Y., Arimura, S., Kazama, T.

Cryptic cytoplasmic male sterility-causing gene in the
mitochondrial genome of common japonica rice.

The Plant Journal, 10.1111/tpj.17028 (2024)
Doi.org/10.1111/tpj.17028

5. 投稿のお願い

本メールマガジンやWeb サイトでは、植物ストレス科学の研究成果
や研究に関する情報の共有を目指しています。

(<http://www.rib.okayama-u.ac.jp/pssnet/>)

PSSNet メンバーの皆様の最新の論文、関連集会やセミナーの案内、
人材募集などの共有可能な情報の投稿をお待ちしております。

ご希望の方は、pssnet-admin@okayama-u.ac.jp 宛に情報をお送り
ください。

また、メーリングリストへの情報提供も随時受け付けております。

セミナーや講演会の開催など、お急ぎの情報は下記宛てにお送り下
さい。

pssnetml@okayama-u.ac.jp

(お送り頂く際には、PSSNet に登録しているメールアドレスからお
願い致します)

6. 編集後記

先月号の編者も書いていましたが、近年の異常気象には驚かされま
す。今年は9月になっても残暑が厳しく、関東から西日本各地で連
日35度越えを記録しました。9月末でも倉敷の最高気温は30度近く
になりました。そんなある日、林の近くで蟬の音を聞きました。こ
んなことは初めてです。しかし、「暑さ寒さも彼岸まで」とはよく
言ったもので、22日を境に、やや涼しくはなりはじめ、10月中旬の
今になり、ようやく秋らしくなってきました。

9月は学会シーズンでもあり、編者は上旬に九州、中旬には関東の
国内学会に参加しました。両地域とも連日の猛暑で難儀をしました。
もちろん、会場はエアコンが効いていたのですが、ずっと会場にい
ると肌寒さを感じましたし、外に出ると暑いし、気温差がまた大変
でした。しかし、両学会の口頭・ポスター発表が完全に通常の対面
開催となり、熱気あふれる年会でした。懇親会で久しぶりにお目
にかかった先生もおられ、「数年ぶりに対面の学会に参加した」とおっ
しゃっていました。

一方で9月下旬には、大陸から進路を東に変えて戻ってきた台風14号が温帯低気圧となり、秋雨前線と共に線状降水帯ができ、とくに石川県能登地域において記録的大雨で甚大な被害となりました。テレビのニュース報道で「なぜ能登だけが…」と、言葉を失う被災された方々を観て、編者もつらく感じました。一刻も早い復興を願うばかりです。

なんとも言いがたい偶然で、能登が豪雨被災した日、石川県出身の力士の関脇 大の里が秋場所で優勝を決め、昭和以降で最速となる9場所で大関に昇進しました。そして10月6日に地方巡業が金沢で行われ、同じく石川出身の力士らの活躍に大いに盛り上がったそうです。大の里関は、(能登で被災された方々に)少しでも勇気や元気を与えられたらいいと思っていると話していたそうです。(ちなみに、10月27日には秋巡業の倉敷場所も5年ぶりに開催されます)

毎年話題になりますが、年末に「今年の漢字」が発表されます。オリンピック開催年は「金」が比較的多い気がします。2024年は「暑」または「災」になる気がします。くれぐれも「災」とはならないように、のこりの3ヶ月、日本が平穏無事であることを祈っています。

「植物ストレス科学研究ネットワークメールマガジン」

■発行日 2024年10月11日

■発行元 岡山大学資源植物科学研究所

植物ストレス科学研究ネットワーク(PSSNet)委員会

■WEBサイト <http://www.rib.okayama-u.ac.jp/pssnet/>

メールマガジン登録変更・解除の手続きは

<http://www.rib.okayama-u.ac.jp/pssnet/Registermember.htm>

をお願いします。

(このメールは岡山大学職員が配信しています)

pssnetml mailing list

pssnetml@okayama-u.ac.jp